

SDGsへの取り組み

■当社グループは「持続可能な社会の形成や地域社会の発展に貢献する企業」として、社会的な課題やニーズに対して取り組んでまいりました。これまでの事業活動に加え、今後新たに展開する方針・施策を通じて、持続可能な開発目標「SDGs (Sustainable Development Goals)」に貢献してまいります。



SDGs (持続可能な開発目標) とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

ENVIRONMENT

事業内容と取り組み	実績・目標	
12 つくる責任 つかう責任 木質ボード事業における未利用材、端材、建築解体材などの有効活用と木材の循環利用 <ul style="list-style-type: none"> ENボード株式会社を主体にパーティクルボードの製造を通じて木材資源を循環利用 炭素を貯蔵する木材資源を有効活用し、CO₂の排出を抑制 	未利用材、端材、解体材のチップ使用量(トン) 2023年度実績 134,526t 2025年度目標 283,000t	
12 つくる責任 つかう責任 プレカットを中心とした省施工型製品の開発と廃棄物の抑制/再利用 <ul style="list-style-type: none"> 熟練技能者の減少に対応し、省施工型製品の開発に注力 代表的製品である完全正寸プレカット階段を拡充し、施工現場における廃棄物を抑制 プレカットした端材は木質ボードやバイオマスボイラーの燃料として再利用 	完全正寸プレカット階段の販売比率(%) 2023年度実績 34.7% 2025年度目標 100%	
7 再生可能エネルギーを創出 太陽光発電による再生可能エネルギーの創出 <ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー創出を通じて環境負荷の低減に貢献 	再生可能エネルギーの累計発電量(kWh) 2015~2023年度実績 37,670千kWh 継続的な再生可能エネルギーの創出	
15 陸の豊かさも守ろう 南洋材から国産材への移行、推進 <ul style="list-style-type: none"> グリーンウッド法を遵守 適切に管理された植林木などを原材料に使用 木質フローリング製造における国産材の使用比率を拡大させ、政府の掲げる「2025年の木材自給率50%以上」の達成に貢献 	フローリング用基材への国産材使用比率(%) 2023年度実績 29.2% 2025年度目標 50%	
12 つくる責任 つかう責任 南洋材からPBへの移行、推進 <ul style="list-style-type: none"> 木質フローリング製造におけるPBの使用比率を拡大させ、木材資源の循環利用を推進 	フローリング用基材へのPB使用比率(%) 2024年度中の製品化に向けて研究・開発中 2025年度目標 10%	

SOCIAL

事業内容と取り組み	実績・目標	
11 住み続けられるまちづくりを 「セーフケアプラス」製品群の普及を通じ、世代を超えて安心して暮らせる住空間づくり <ul style="list-style-type: none"> 加齢による身体能力の変化に配慮した「セーフケアプラス」製品群で超高齢社会の課題解決に寄与 「セーフケアプラス」製品群の拡販を通じ、小さな子どもからシニアまで、世代を超えて安心して暮らせる住空間づくりに貢献 	セーフケアプラス製品群販売累計金額(百万円) 2015~2023年度実績 累計6,155百万円 セーフケアプラス製品群の販売拡大	
11 住み続けられるまちづくりを 木質ボード事業での耐力面材販売促進による耐震化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ENボード株式会社(2019年に日本ノボパン工業株式会社と設立)において構造用パーティクルボードを製造し、国が進める建築物の耐震化に貢献 	2023年度実績 7,023t/月間 2024年度目標 15,000t/月間	
11 住み続けられるまちづくりを 海外市場(ASEAN諸国)での事業展開・製品販売を通じた現地の生活水準向上への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ASEAN諸国の住宅資材需要にあわせた製品の開発、販売を通して現地の生活水準向上に貢献 	海外市場での売上金額(百万円) 2023年度実績 15百万円 海外市場における製品の販売拡大	
5 ジェンダー平等を推進しよう 働き方改革の推進 <ul style="list-style-type: none"> 男女とも平等に、出産育児介護をしながら仕事を続けることができ、各従業員がやりがいを持って仕事に取り組めるような働きやすい職場環境を整備 女性が活躍できるための職場環境を整え、2016年に「えるばし」認定の最高位を取得し、さらに活躍できる機会を創出 	女性従業員比率(%) 2023年度実績 19.1% 新卒採用の大卒女性比率(%) 2023年度実績 28.6% 社員の育児休業取得率(%) 2023年度実績 100% よりよい働き方の推進、継続	
3 すべての人に健康と福祉を 製品の品質・安全性の向上 <ul style="list-style-type: none"> 設計、製造から販売に至るまで、お取引先様及びエンドユーザー様にご満足いただくことを最優先 お取引先様及びエンドユーザー様からの信頼に応えるためISO9001(QMS)に基づいた品質管理体制を徹底強化 	重大製品事故発生件数(件) 2023年度実績 0件 2030年までの目標 毎年0件	

GOVERNANCE

10 公平な社会と豊かさをすべての人に コンプライアンスの徹底 <ul style="list-style-type: none"> 役員、従業員の果たすべき役割を明示した「コンプライアンスマニュアル」を策定 定期的な教育、啓蒙活動を行いコンプライアンスに対する意識を高める取り組みを推進 	重大コンプライアンス違反(件) 2023年度実績 0件 2030年までの目標 毎年0件	
3 すべての人に健康と福祉を 労働環境を向上させ重大災害のゼロ化を維持 <ul style="list-style-type: none"> 2023年2月と2023年5月の重大災害を受けて、安全対策をさらに強化 熱中症やインフルエンザなどのほか年間を通じて新型コロナウイルス感染症への予防措置(消毒、換気)などを実施 	重大災害発生件数(件) 2023年度実績 1件 2030年までの目標 毎年0件	